



森ボラ 通信

第214号 2019年11月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 東京で緑の都市賞・内閣総理大臣賞受賞にかかる事例報告を行う

この度、森ボラが『緑の都市賞・内閣総理大臣賞』を受賞したことに伴い、(一社)日本公園緑地協会が主催する「ひろげよう 育てよう みどりの都市 全国大会」に招かれ、酒井専務理事が事例報告を行いました。

緑の都市賞とは(公財)都市緑化機構が主催する全国域の顕彰制度で、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、地域社会の活性化、青少年の育成等に取り組み、環境や社会に対する貢献の実績と成果をあげている市民団体、企業等に贈られるものですが、今回、森ボラは「地域社会と次世代の子ども達のために都市環境林の整備及び子供たちへの体験環境学習をボランティアで実践し、森林管理の専門家の指導を仰ぎながら整備計画を作成し、行政施策との連携も適切に図られており、札幌市の豊かな都市環境づくりに貢献している」ことが高く評価されて最高位の栄誉に浴したものです。

10月25日の東京は台風21号くずれの影響で大雨の中、酒井専務理事他樫棒、市山、清澤4名は全国大会の会場であるニッショーホールに到着しました。14時から始まった全国大会は、前段に都市緑化功労者の表彰式が行われており、私たちは表彰式に引き続きスポーツ庁長官鈴木大地氏の記念講演から出席しました。鈴木長官は、「スポーツイベントとレガシー」と題して、スポーツイベントが開催地にもたらす環境や社会への効果を一過性のものではなく永続的に遺産(レガシー)として残していく必要があると訴えていました。

記念講演に続いてはいよいよ出番です。まずは都市公園等コンクールで国土大臣賞を受賞した熊本市および沼津市のそれぞれの市長から事例報告があり、最後に当協会酒井専務理事が「子どもたちが学ぶ北の里山づくり」と題して、スライドを使っておよそ300名の全国の公園関係者を前に25分ほどの事例報告を行いました。その内容はわいわいが澄川で永年行っている育林活動、生態系保全活動および環境教育活動についてその経過および現状、課題について触れたものでした。

事例報告が無事終わり、4人が会場を後にする時には不思議に雨は止んでおり、晴々とした気分で、自腹で祝杯を挙げに行ったのはご想像の通りです。

なお、緑の都市賞の授賞式は11月25日に東京・明治記念館に於いて行われ、当協会からは酒井専務理事と樫棒代表幹事が出席の予定です。(文・清澤)



活動報告

◆ 親子森林教室第5回活動報告

～ 秋色に染まる森で 苗作り、腐葉土の観察、コクワ・キノコ採りなどをする ～

第5回親子森林教室は澄川環境林で10月20日(日)に隊員10名、保護者他10名、協会員16名の総勢36名で開催されました。青空のもと紅葉が輝き、秋の森を満喫しました。

朝礼、ラジオ体操を済ませ、第二小屋そばの林で最初の活動「苗づくり」を親子でしました。「良

く成長している木から生まれた実生の苗は同じ環境で良く育つので、山どり苗は大切」と榎棒さんから説明を聞いて、自分たちで実生の苗を選び2個ポット苗を作りました。根を出したドングリも拾ってポットに播種。ポットは苗畑に運び寝かせて養生させました。

次は「秋の葉っぱ採り」です。隊員が自分で選んだマイツリーからマイリーフ用の秋の葉っぱを採りました。西野澄子さんの感想は「今年の紅葉は赤みが少なくちょっと残念」でした。結子さんのマイツリーが枯れてしまって、がっかりした気持ちを思うと、マイツリーの選木を慎重にと反省しました。

「秋の森歩き（腐葉土の観察）」ではE地区の避難小屋を目指して紅葉の森を歩く途中、上流橋の手前の植栽地で「腐葉土の観察」をしました。土の層を崩さないように掘り出してトレイの上に置き、虫眼鏡やピンセットを使って落ち葉や虫を観察。太ったミミズが出てきて隊員はびっくり！加藤さんは腐葉土について「夏の間いっぱい茂った頭上の葉は秋になると地面に落ちて菌類や虫によって分解され腐葉土になる。腐葉土は地面の表土、温度、水分を保全し栄養分を供給する。森は根からの吸収、葉の光合成、土壌生物による落ち葉の分解で繋がり、一つの循環系になっている。」と説明しました。



午後からの「葉っぱの学習」は、秋になって葉っぱの中の緑の葉緑素がなくなると、残っているアントシアニンやカロチンの色で赤、黄、茶の3色の紅葉になることやでんぷんを作る工場の仕事を終えて落ち葉になることを酒井さんが説明。直子さんが上手に朗読してくれた「葉っぱのフレディー 命の旅」の一節を聞きました。

最後の活動「森の恵みを味わう」では隊員たちが採るほどコクワや山ブドウが無く、高枝ばさみで切り落としたものを皆で分けて食べました。

「苗づくりが楽しかった」、「葉っぱの工場の話が勉強になった」、「コクワが美味しかった」など隊員に感想を話してもらい、加藤さんが集めてくれたクリや山ブドウのお土産を渡して、第五回の活動も無事終わりました。ご協力有難うございました。（文・佐野）

◆ オイスカ・ユネスコ育樹祭の支援活動

10月12日にCGC 烏柵舞の森にオイスカ 35名とユネスコ 14名に加えお手伝いの協会員 17名が集まり育樹祭が開催されました。



今年度の烏柵舞の森の作業は2012年から5年間で植栽した12,000本のアカエゾマツと広葉樹の下草刈り等を含む育林管理をすることですが、その作業と並行して育樹祭に向けての準備も進めてきました。具体的には育樹祭用の苗の手配・管理と植栽予定地の下草刈り、そしてシラカンバ間引き施業の場所の設定及び間引き対象木のテーピング作業等の準備を5月から行ってきました。

開会式では榎棒さんのお祝いの言葉と育樹祭の進め方に付いて説明が終わった後育樹活動が開始されました。

植栽の部は2班に分かれ、それぞれ小・中・高校生＋付き添い班と大学生班がアカエゾマツ 30本ずつ植栽しました。また、シラカンバ間引き施業班も2班に分かれ、オイスカ関係者、ユネスコ関係者は協会員の指導によりNo.10-7・8とNo.10-6・7で作業を行いました。酒井さんの“葉っぱのフレディー命の旅”の逸話を振っての講話は学生達に大変好評でした。

今回は天候にも恵まれひと汗かいて十分に満喫して生長途上の森を後にしました。数年後に今回植栽したアカエゾマツそしてシラカンバ、その他広葉樹の生長の変化を見て貰いたいと願っています。今回も酒井オイスカ北海道支部幹事長・安達事務局長さん大変お疲れ様でした。

(文・事務局)

◆ 秋季清掃活動報告

10月18日に今年2回目の清掃活動が参加者16名で行われました。

毎回の事ですが、この日の朝は憂鬱な気持ちとなります。その原因は今回も“臭い・汚い”飲み残しのペットボトルやコンビニ弁当のプラスチック容器そして作為的に捨てられたと思われる家電類、同じサイズのタイヤ、使い古しの大量の衣類等を拾い集めるのかと思うと・・・、でも林内の紅葉の美しさに癒されて気持ちを取り直し“サーやるぞ”

何時もの様に駐車場入口ゲートを出た南北の西側道路を右と左に別れ、散らばっている不法投棄ゴミをボランティア袋に詰め込んだり、谷間に落とされたタイヤ等の粗大ごみを道路までロープで引き揚げたりして2時間程で作業は終わりました。

今回は北側の道路沿いのゴミは比較的少な目でしたが、南側の自衛隊演習場入口付近のポプラの付近には相変わらず大量のゴミが捨てられていました。この辺りは地形的に不法投棄され易いのか？再度札幌市みどりの課と相談しながら対応していきたいと思います。

報告を受けたゴミの量はボランティア袋で0.8トンでした。その他小物類の量は不明でしたが、大小タイヤ18本、業務用冷蔵庫を含めて2台、TV4台でした。豊平・南清掃事務所の皆さんには今回も大変お手数掛けました。感謝申し上げます。(文・事務局)

◆ 伐木等の業務（大径木）講習を受講して

コマツ教習所北海道センターにて伐木等業務（大径木）講習を受講いたしましたので、受講概要を報告します。



今回の講習は労働安全衛生規則第36条8号（大径木）と来年8月の省令改正のための追加講習を10月30日から述べ3日間受講いたしました。内容としては伐木作業に関する知識、チェーンソーに関する知識、振動障害と予防に関する知識、関係法令等の学科教育と伐倒の方法、チェーンソーの操作及び点検整備方法の実技教育を受講いたしました。

また令和2年8月より労働安全衛生規則第36条8号の改正に伴い旧受講資格が無効となるため、規則改正内容を中心とした追加講習を受講いたしました。特に気を付けなければならないのは、来年の8月以降は追加講習を受けなければ無教育者となるため伐木作業等での労働安全衛生規則違反となる事です。ただしボランティアの場合は追加講習

の必要は無い（林災防見解）との事です。

受講して様々な伐木の方法や色々なケースでのかかり木処理の説明を受け大変参考になりました。実技ではチェーンソーの目立てのコツや突っ込み切り等、すぐに実践できる内容でした。詳細は別途冬季セミナーで報告させていただきます。(文・松藤)



■ 澄川の自然 3

富貴草(フッキソウ)・ツゲ科

背丈は20～30cm位で今の季節、枯葉の中に青々とした葉に白い実を付けとても目立ちます。北海道の広葉樹は秋ほとんど葉を落としてしまいますが富貴草は常緑広葉樹です。春早くまだ雪が残っている頃に穂状に咲く花芽を出します。(文・西野澄子)

■ おしらせ～ 冬季（1～3月）活動時間の変更について

協会員から冬期路面状態、活動時の温度などから30分遅らせる提案があり、11月の幹事会で諮った結果、活動時間を**10:00 朝礼～12:30 終礼（昼食無し）**に変更し様子を見ることにしました。

■ 今月の幹事会

出席者：大窪・荻田・樫棒・加藤・佐野、釣井、三橋、矢澤、矢野

1. 2019年12月、2020年1月スケジュール(12月幹事会12月6日(金)):1/8 澄川活動始め、安全講習
2. 2019年10月会計報告
3. 第二回理事会議案書読み合わせ:11月21日(木)15:00～15:45 ラルズ本社ビル、出席者確認
4. 第5回親子森林教室の報告および来年度の計画:来年度の親子会員募集チラシ作成を進める。
5. 森林・山林多面関係:事業の進捗状況報告(有明、水明郷の今年度活動を終了)
6. 緑の都市賞授賞式(11/25):酒井、樫棒出席。受賞懇親会は12/18 冬季セミナー後に行う。
7. 「マチなか×NPO」(12/5)参加:出展内容(コースター作り、ペン立て無償配布、協会チラシ配布)
8. DropBox アップロードの活用:大変便利なので有効に活用
9. 報告・澄川南小対応(10/9 4年生、10/24 6年生記念植樹、10/30 3年生、5年生工作)
 - ・10/11・12 烏柵舞育樹祭、水明郷植樹:今年度の支笏湖周辺活動を終了
 - ・10/16 西野第二現地対応:ニセアカ整理、境界付近の笹刈り、来年度は1回実施(植生調査)
 - ・11/1 野幌森林公園園生調査:広葉樹の内ハルニレ、ヤチダモ、ハンノキは順調に生育、ミズナラ全滅
10. 現場対応他・11/12 澄川右精進川水質調査:中止としました。
11. その他・高額金額申請の件:澄川駐車場の除雪委託(例年通り三幸建設)
 - ・忘年会出席状況:12/10・11 南幌温泉 18名参加予定
 - ・オイスカ北海道35周年記念パーティー出席要請の件
 - ・澄川ニセアカ:過年度に巻枯らしを実施した箇所現地状況を確認し、対応を検討する(⇒2015年3月と7月に巻枯らし30本を行っています)

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月18日(金)	澄川	16	林内清掃、澄川南小4年生森林教室(70名)
10月20日(日)	澄川	16	第5回親子森林教室(子供・保護者・幼児20名)
10月22日(火)	有明	9	食害防止網設置、生長調査、見回り
10月24日(木)	澄川	11	澄川南小6年生記念植樹(55名)、観察会
10月25日(木)	東京(ニッショーホール)	4	緑の都市賞事例報告会
10月27日(日)	澄川	14	北地区調査、E地区踏板整備
10月30日(水)	澄川	15	E地区踏板整備、樹木病害視察(森総 石原博士)
11月1日(金)	野幌	9	標準列生長調査(針葉樹、広葉樹)
11月6日(水)	澄川	15	キャリコ木道補修、幼樹食害防止網設置
11月8日(金)	ラルズ生活研究C	9	幹事会
11月9日(土)	澄川	12	キャリコ木道補修、道新取材対応
11月12日(火)	澄川	19	E-7区冬季整理伐調査、上流木道補修、冬囲い
11月15日(金)	澄川	9	E-7区冬季整理伐調査